

サトウハチロー 詩人。感化院の出会いから、童謡・歌謡曲の作詞家となり、<敗戦>後に話題作を次々と創作。

さとうはちろう

日比谷公園・1903 = 東京市牛込区市谷薬王寺前町で、**佐藤紅緑の長男に生まれる。**
母は11人の子を産んだが、皆病気で戦争で亡くなり、唯一残った。

日露戦争終・1905 = 2歳：
満鉄発足・1906 = 3歳：身体半分の大やけどをし、以後、家に閉じこもっていたため、

韓国併合・1910 = 7歳：小日向台町小学校に入学した時も、おんぶされて通学。

明治天皇没・1912 = 9歳：
母から、厳格に育てられながら、身体が丈夫にと野球を勧められ、以後、野球に熱中するが、卒業まで優等で通し、

民本主義・1916 = 13歳：早稲田中学に入学したが、**父に愛人ができて引き取られ、母と別居、悪さを盛んにするようになり、**
ロシア革命・1917 = 14歳：**ついに小笠原の感化院に出され、父の弟子だった詩人の福士幸次郎と生活を共にして影響を受け、**

ペルシヤ条約・1919 = 16歳：その紹介により**西條八十**に弟子入りして童謡を作り始め、数々の雑誌や読売新聞などに掲載される。
一方、今東光らの同人誌{文党}や、草野心平・宮沢賢治らのいる同人誌{銅鑼}に参加、
原敬首相暗殺1921 = 18歳：有名作家の野球チーム{ゲイ倶楽部}に招かれ参加、以後一緒に活動。**活字になった最初の童謡「笹の舟」。**
水平社結成・1922 = 19歳：母が死去。以後、母を想う詩を多くつくる。

円本時代始・1926 = 23歳：***処女詩集「爪色の雨」を出版、軽妙な詩才を示す。**

海軍軍縮条約1930 = 27歳：***歌謡曲詩人として知られるようになり、**
満州事変・1931 = 28歳：
童謡や詩だけにとどまらず、小説や映画の主題歌なども盛んに執筆、

芥川直木賞始1935 = 32歳：「僕等の詩集」のほか多くの童謡集があり、

日中戦争始・1937 = 34歳：
健保+総動員 1938 = 35歳：**日本コロムビアと専属契約。**
第二次大戦始1939 = 36歳：

日米開戦・1941 = 38歳：
大戦中も妻子を千葉県に疎開させ、自身は東京に残って仕事を続ける。

敗戦・1945 = 42歳：広島が原爆投下によって弟節を失う。***戦後初となる映画「そよかぜ」の挿入歌「りんごの歌」を作詞、並木路子の歌で戦後を象徴する曲となる。**

新憲法公布・1946 = 43歳：東京タイムズにエッセイ「見たり聞いたりためしたり」の連載を始め、以後10年の、毎日連載。NHKのラジオ番組{話の泉}のレギュラーとなる。

極東裁判決・1948 = 45歳：

独立回復・1951 = 48歳：NHKのラジオドラマ「ジロリンタン物語」の原作を執筆。

TV放送始・1953 = 50歳：**童謡「しかられぼうず」を出版し、**
自衛隊発足・1954 = 51歳：**童謡界への貢献も加えて、芸術選奨文部大臣賞を受ける。以後は童謡の詩作に専念し、**
55年体制始・1955 = 52歳：**代表作「ちいさい秋みつけた」を作詞して、**

なべ底不況・1957 = 54歳：

安保闘争・1960 = 57歳：

全国総合計画1962 = 59歳：**レコード大賞童謡賞。**
TV宇宙中継始1963 = 60歳：**NHK放送文化賞受賞。3年かけて出された詩集「おかあさん」も知られる。**
東京初レック 1964 = 61歳：**{話の泉}のレギュラーはこの年まで続いた。**

いざなぎ景気1966 = 63歳：**紫綬褒章。**
美濃部都知事1967 = 64歳：**日本作詩家協会会長、**

全共闘バカ・1969 = 66歳：**日本童謡協会会長、**

ドクショック・1971 = 68歳：自伝「落第坊主」。さらに、日本音楽著作権協会会長にも就任したが、

石油ショック1973 = 70歳：勲三等瑞宝章を受章し**没した。**